

- 平成23年度 こうべまちづくり学校<基礎講座>を終えて ほか(P.1)
- 「神戸市都市デザイン賞」を募集します!(P.2)
- まちづくり雑感(P.3)
- 図書紹介「東日本大震災写真集等」ほか(P.4)

発行：こうべまちづくりセンター

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

平成23年度 こうべまちづくり学校<基礎講座>を終えて

今年で10年目を迎える「こうべまちづくり学校」が5月16日に開講し、全5回の「基礎講座」が開催されました。今年、住民主体のまちづくりに大きな役割を果たしたまちづくり条例の制定30周年を迎え、まちづくりの現状、安全安心なまちづくりを進めるための取り組みなど、様々な視点から学ぶことができ、盛況のうちに全講義が終了し、38名の方が修了されました。



第1回 神戸のまちの歴史 -大河ドラマと地域振興-

田辺 真人 氏(園田学園女子大学名誉教授)

5月16日
(月)

大河ドラマ「龍馬伝」にちなんだまちおこしの取り組みなどの豊富な実例を通して、身近にある地域資源(歴史・文化)を観光・産業に有効に活用するためにはどうすればよいのか?また、今放映中の大河ドラマ「江」についても、機会をとらえて積極的にPRすることが大切など、ユーモアをまじえてお話がありました。



第2回 地域で取り組む減災まちづくり -東日本大震災からの再生に向けた提言~再生のビジョンと再生方針-

林 春男 氏 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授)

5月23日
(月)

東日本大震災の現地の状況をふまえて、今後、単なる復興ではなく、今まで以上に安全で魅力あるまちに再生するために、地域の人々の防災に関する経験の次世代への継承・生活再建に欠かせない地域の経済再生などについて、お話がありました。



第3回 これからの神戸の地域活動 -ソーシャルキャピタルに注目して-

立木 茂雄 氏(同志社大学社会学部教授)

5月30日
(月)

「ソーシャルキャピタル(人と人とのつながりの豊かさ)」が、地域の安全・安心の向上に及ぼす効果について、様々な分析結果をもとに検証し、それを高めるうえで鍵となる要素についても、地域の具体的事例等もまじえて、お話がありました。



第4回 安全で魅力的な市街地をつくる

田中 正人 氏(都市調査計画事務所) 橋谷 惟子 氏(美しい街岡本協議会会長) ほか

6月6日
(月)

実際に地域で活動している専門家・地域の方のお話がありました。田中氏からは、垂水区塩屋の住宅密集地区について、都市計画道路の整備に関する地域での合意形成支援での苦労・工夫を、橋谷氏からは、身近な活動の具体例をまじえ、まちづくりでは、「岡本大好きな人を増やす」など、人が大切であること等をわかりやすく学ぶことができました。



第5回 ワークショップ入門

辻 信一 氏(神戸まちづくりワークショップ研究会)

6月13日
(月)

近年まちづくりの過程で、多様な意見を尊重した合意形成のために用いられることが多いワークショップについて、基礎を学んだ後、「これまでのまちづくり学校を受講して印象に残っている言葉・ことなど」をテーマに、実際にKJ法を応用したグループワークを体験しました。



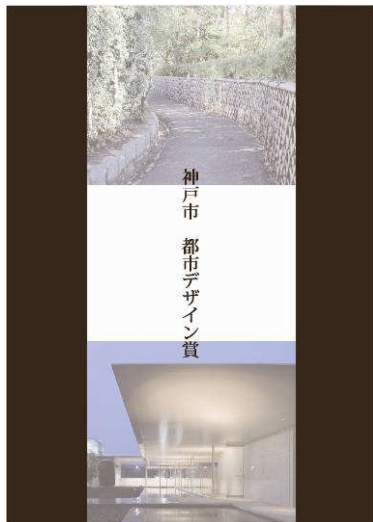
こうべまちづくり会館企画展

消えゆく神戸風景を追って
神戸ドックとその周辺 1998~2011

徳永卓磨展

会期：平成23年7月21日(木)~26日(火)

会場：こうべまちづくり会館 地下1階ギャラリー



「神戸市都市デザイン賞」を募集します！

神戸市では、神戸らしい魅力ある空間・環境を形成している建築物や市民活動等を表彰するため、従来の「建築文化賞」「景観・ポイント賞」を発展させ、「神戸市都市デザイン賞」を新たに創設しました。

本賞では、神戸らしい景観やまちなみを形成している建築物などを表彰する「まちのデザイン部門」と、環境に配慮された優れた取り組みを行っている建築物などを表彰する「CASBEE建築部門」の2部門を設けています。

みなさまの身近にある、「デザイン都市・神戸」にふさわしいと感じる建物やまちなみをぜひご応募ください。（都市計画総局まちのデザイン室）

募 集 要 領

1.対象

(1) まちのデザイン部門

- ◇神戸市内の建築物、工作物、土木構造物、屋外広告物など
- ◇神戸らしいまちなみ、オープンスペース、植栽など
- ◇既存建築物を転活用・改修した建築物
- ◇美しいまちなみを形成または保全する取り組みを行っている団体

(2) CASBEE建築部門

- ◇おおむね最近3年以内に完成した神戸市内の建築物で、環境配慮等の取り組みを行っているもの(規模・用途は問いませんが、神戸市建築物総合環境評価制度又は神戸市すまいの環境性能表示で定める基準による評価が必要です。)
- ※「CASBEE」とは…建築物の環境配慮の取り組みを総合的に評価し、格付けする仕組み

2.選考のポイント

神戸らしい優れた景観・まちなみの形成や地球環境への配慮等の優れた取り組みにより、市民に親しまれるとともに、新たな魅力や価値を生み出している建築物を対象とします。

- ◇海、河川、山並み等の自然環境を考慮しているもの
- ◇伝統的なまちなみに配慮しているもの
- ◇賑わいのあるまちなみを考慮しているもの
- ◇まちのシンボル、ランドマーク的存在となっているもの
- ◇共同化や協調化によって、建物が新しいまちの景観を創り出しているもの
- ◇住民等のまちづくり活動によって美しいまちの景観を創り出しているもの
- ◇美しいデザイン(空間構成、斬新性、独創性等)
- ◇周辺と調和、あるいは建築物と一体的にデザインされ、まちなみに配慮された屋外広告物や案内サイン等
- ◇わかりやすく見やすい屋外広告物や案内サイン等
- ◇ユニバーサルデザインに配慮されたもの
- ◇高度な技術、最先端の技術(構造、設備、構法等の先進性)を用いた建築物
- ◇地球温暖化対策、省エネルギーの工夫等により、環境配慮の点で特に優れた取り組みを行っているもの

3.推薦の受付

平成23年7月1日(金)～8月31日(水)までの間に、募集パンフレットの「応募・推薦用紙」に必要事項を記入のうえ、写真を添えて、郵送でご推薦ください。(ただし、写真は返却いたしません。)

なお、建築物総合環境計画書の届出対象外である物件で、CASBEE建築部門に応募される場合は、同計画書をあわせて添付してください。

また、下記お問い合わせ窓口に直接ご持参いただくか、Eメールによる応募も受け付けております。(神戸市ホームページにて、「応募・推薦用紙」をダウンロードできます。)

4.選考・表彰

平成23年10月頃に選考を行い、平成24年2月頃に表彰を行う予定です。

●お問い合わせ先

神戸市都市計画総局計画部まちのデザイン室

TEL : 078-322-5484 FAX : 078-322-6096

E-mail : keikan@office.city.kobe.lg.jp

※神戸市ホームページからもご覧いただけます。



まちづくり雑感

こうべまちづくりセンター 松本 泰明

「まちづくりって何だろう？」

専門書を見ても、まちづくりについて、一つの明確な定義があるわけではないようです。

まちづくりが対象とする分野は、住環境整備や空間づくりからゴミ問題や福祉・子育てなどへと広がりを見せています。また、その実現方法も「住民主体」「市民が主役」「市民と市の協働と参画」といったフレーズで表わされる方向にシフトしています。

さらに、まちづくりは地域住民による「持続的・継続的な活動」にこそ意義があるとするまちづくり専門家もいます。

このように多様な側面をもつまちづくりについて、日頃感じている疑問を書いてみたいと思います。

○ まちづくりに大切なものは ー過程 vs 結果

まちづくりにとって大切なものは、まちづくりの過程(活動)でしょうか、それとも結果として目に見えるまちの姿でしょうか。

まちづくりが長期にわたる継続的な活動であるとするれば、結果もさることながら、活動そのものの維持が重要ということになります。それは、活動の構成要素であるヒト(まちづくりを担う人材・まちに愛着をもつ人々)、ネタ(まちづくりのテーマ)、カネ(活動資金)を、欠かすことなく維持していく必要があることを意味します。その意味からも、この過程においては、参加者意識をもてるよう、合意形成に向けた話し合いそのものが重要視されています。

しかし、その一方で、ある程度の結果が見えないと、まちづくりが進んでいる実感を得ることができず、モチベーションが保てないことも事実です。

結果が、新たなヒト・ネタ・カネをもたらしてくる、そんな拡大再生産のしくみをつくりあげることが必要なのかもしれません。

○ まちづくりの応援は ー走行支援 vs スタート支援

地域のまちづくりの様子を見ると、まちづくり協議会などの地域団体により活発なまちづくり活動が展開されている地域がある一方、活動がほとんど行われていない地域もあるようです。

活動がない理由は、すでに理想的なまちができあがっているということではなく、活動を担うリーダーがいなかったり、全体的に関心が低いということではないかと推測されます。このように、まちづくり

活動に対する温度差が大きい各地域に対し、どこに重点をおいて、まちづくり活動を応援すればよいのでしょうか。

すでに活発に活動している地域を積極的に応援することは、時として、その他の地域でまちづくり活動が始まるきっかけとしての役割を期待できるかもしれません。一方、活動していない地域に対し、種火を起すための応援を行い、できるだけ多くの地域に、まちづくりという終わりのない超長距離走のスタートを切ってもらうことも都市全体のレベルアップを図るには必要かもしれません。

実際のまちづくり支援は、地域の実情を見ながら、バランスよく両者を使い分けていく必要がありますが、都市全体についてのまちづくり活動支援のビジョンをどのように設定するかは悩ましいところです。

○ まちづくりの成否は ー誰がどうやって決める？

まちづくりやそれによりでき上がったまちが成功であったかどうかを判断するのは誰でしょうか。

それらを評価する共通の“ものさし”があれば、誰が測っても同じ答がでるはずですが、実際には、測る人により、立場により、また測ろうとする対象地域の切り取り方によっても、使用するものさしが異なっています。異なるものさしで測れば、当然答も変わるわけですから、成否についての評価も千差万別です。

今のところ、誰もが納得する評価の方法は確立されていないように思われますが、事業仕分けが進む昨今、効果をわかりやすく示すことを求められる時代がくるかもしれません。

まちづくり活動による個々の地域の地域力向上が、都市力(都市の活性化、魅力化、防災・防犯力)の向上にどれほど貢献しているかは見えにくいですが、地域力が低下すれば、間違いなく都市力の低下につながります。

「良いまちづくりにとって必要なものは？」という問いへの答は容易に得られるものでなく、まちづくりに携わる者にとって、永遠のテーマかもしれません。だからこそ、絶えず問い続ける姿勢を大切にしたいと感じています。

まちづくりライブラリー
(図書コーナー)

図書のご案内

～東日本大震災写真集等～

こうべまちづくり会館4階のまちづくりライブラリー(図書コーナー)では、右記の東日本大震災の報道写真の写真集等をご覧いただけます。東日本大震災の被災地の現状を知ることによって、もう一度、安全安心なまちづくりについてふりかえるとともに、私たちが被災地に対して、どのような支援ができるのか考えてみませんか。



神戸新聞社 特別報道写真集 東日本大震災
朝日新聞社 東日本大震災 報道写真全記録
東日本大震災 読売新聞報道写真集
産経新聞社 闘つ日本 東日本大震災 1ヶ月の全記録
河北新報社 報道写真集 3.11 大震災 巨大津波が襲った
週刊新潮別冊 4/20号 『ワカ』 大災害緊急復刊
ワザ- 5/6 増刊号 東日本大震災全記録
ワザ- 毎日緊急増刊 東日本大震災
ワザ- 毎日緊急増刊 東日本大震災 2
緊急復刊 7枚ワザ東北関東大震災全記録
N.O. 20 AERA 臨時増刊 東日本大震災 レンズが震えた
N.O. 15 AERA 臨時増刊 東日本大震災 100人の証言
N.O. 22 AERA 臨時増刊 原発と日本人 100人の証言
週間金曜日 4/26号 原発震災
仙台学 VOL.11 東日本大震災

※上記写真集は、閲覧のみで貸し出しはしていません。
スタッフまで、お申出ください。

まちづくり会館 展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

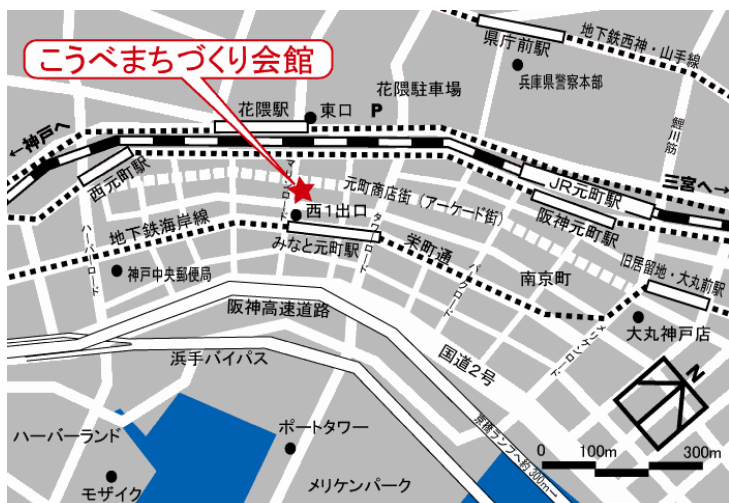
※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主 催 者
6/23(木) ～ 7/12(火)	神戸マラソン大会/第19回アジア陸上競技選手権兵庫・神戸大会	神戸市教育委員会
7/14(木) ～ 7/26(火)	みち、みず、みどりの学校/交通安全総点検	神戸市建設局
7/28(木) ～ 8/16(火)	この夏は兵庫運河にでかけよう!!/兵庫運河らしい景観づくり	兵庫区/神戸市都市計画総局

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主 催 者
6/30(木) ～ 7/5(火)	第9回 そらいろの会 絵画展 〈油彩・水彩〉	そらいろの会
7/8(金) ～ 7/12(火)	アルペジオ・合同作品展 〈油彩・水彩等〉	アートフォーラム アルペジオ
7/15(金) ～ 7/19(火)	のむら・アート・るーむ 作品展 2011 〈油彩・水彩等〉	のむら・アート・るーむ
7/21(木) ～ 7/26(火)	徳永 卓磨展 ～消えゆく神戸風景を追って～ 〈油彩等〉	こうべまちづくり会館
7/28(木) ～ 8/2(火)	第31回 三滴会書道展	三滴会
8/4(木) ～ 8/9(火)	明石アートクラブ展 〈油彩・水彩〉	明石アートクラブ
8/11(木) ～ 8/16(火)	コラージュって、知ってる? 〈コラージュ〉	橋本 操



神戸市立 こうべまちづくり会館

開館時間:午前9時30分～午後6時(水曜日休館)
場 所:元町商店街4丁目西端の南側角
地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分
神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分
「西元町」東口から東へ5分
JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分
〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14
電話:078-361-4523 FAX:078-361-4546
ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)
自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談
受付:午前9時30分～午後5時30分(水曜日休館)
ただし、印刷は5時まで
電話・FAX:078-361-4565